

# 第16回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2010年3月7日

試合会場	準決勝 セ-107
------	--------------

肯定側:

D-Net - E

否定側:

ITB - 東

判定理由・コメント

否定ディベートは3度とたたき落すのを繰り返すことで、  
また、肯定側の攻撃行動は件ごとに強化される形で、序盤から  
リズムを保つことで、序盤から差をつけられる。

この試合における勝者は: 肯定 (D-Net)  
ベストディベーターは: 甲子 (D-Net - E)

審査員署名: \_\_\_\_\_

# 第16回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2010年3月7日

試合会場	準決勝 セ-107
------	--------------

肯定側:

D-Net E

否定側:

ITB - 東

## 判定理由・コメント

現状。世界

CO<sub>2</sub>が原因で温帯化が進む。  
GDPが5% / year の経済成長がある。  
→ IPCCの報告書は「ほぼ確実」。  
反対はない。

→ 経済的取組みへて、 $\times 132\text{A}\text{C}$ を評価

中小企業の経営は厳しく。(70%が失業)

政策

3000億~8000億円の支度が正比例して云々。  
= もう少し遅くまで云々。

起因得失化

Aff: 決まり直った発生。

農作物に関する Turn Around 17. T/AIには多くの  
よどや、47日の D A と評価。

Neg: DAI. 2 (モードではある) 程度は不明で、

長期的には解決方法。

DAI. 2 (モードではある) slight と Damages は否認でき。

この試合における勝者は: 肯定側, D-Net E

ベストディベーターは: 田中 晴光 (2ACで最もLead)

審査員署名: \_\_\_\_\_

# 第16回JDA春季ディベート大会 判定用紙

日付: 2010年3月7日

試合会場	準決勝 セ-107
------	--------------

肯定側: D-Net E

否定側: ITB-東

## 判定理由・コメント

\* 全体.) メリットとアーティストも~~は~~影響の複合論、確率不明確。  
肯定側のみ、多説つことをうながす。西側の話があるかないか。  
(将来的なこと)

○メリット メリットとアーティストとみなす。

1. 温暖化の抑制(日本の仁川)?)

○~~温暖化~~温暖化、技術の改善起因か?

○温暖化(人の因心)は不明、全体としてどうなる?

○技術がしないといけない。

⇒ て、確かにまだいいが、肯定のままである。しかし、アーティストも影響があるからかとしない?

○やはり温暖化させると。  
、いつ何反反覆する。この程度影響が大きいとみても不明。

2. 運用(?)

⇒ 結局あり、本筋先にかなりいい。

○メリット、健全のままで。

○肯定のままであり、この程度かは分からぬいが、真相は未だ(今は中小企業?)→危機意識

○~~危機~~危機のように、X%、Y%など全くでは、可能性ある。アーティストも27日であります。

○肯定、発表後の→全体としてはどうなるか不明。

△△△

○アーティスト2. 危機化看 ⇒ ①

※ 肯定側のままである。(危機化看への理解) にあり

○肯定側のままである。⇒発生の危機解消。

この試合における勝者は: 肯定

ベストディベーターは: 田中 (D-Net E)

○アーティスト3

△△△

○~~危機~~危機のままである。投入削減と削減までの程度調整不可能

△△△、否定側のままである。真相が↗ことと完全にはせりては分かり。

△△△、危機はある。ただし、程度はひどく。(影響も)

審査員署名: